

観光ハブ都市づくりの推進について

平成 26 年 3 月 御殿場市商工観光課

1. 御殿場市の観光に関する状況

本市の観光交流人口は、箱根・富士五湖等の全国的に有名な観光エリアに隣接し、また、御殿場プレミアムアウトレット、御殿場高原ビール等の大型集客施設などの開業もあり順調に増加傾向を示し、現在、静岡県内で静岡市、浜松市に次いで第3位の規模です。

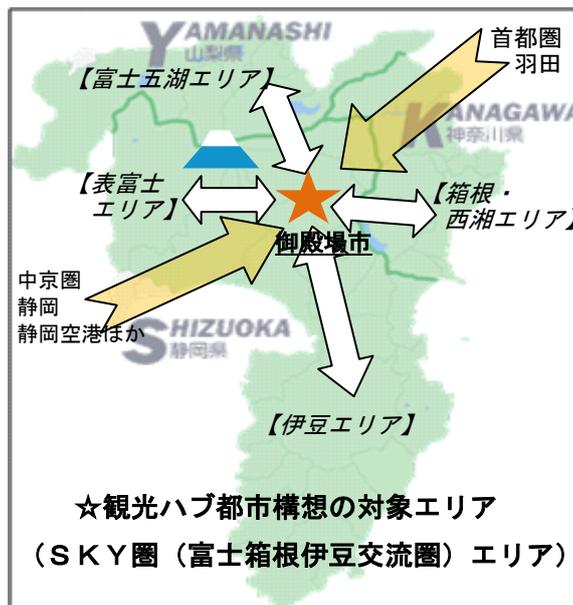
さらに近年は、富士山静岡空港の開港（平成 21 年 6 月）、中国人観光客の訪日ビザ取得要件の大幅緩和（22 年 7 月）、羽田空港の再拡張・国際化（22 年 10 月）等により訪日外国人観光客が増加する中、箱根や富士五湖を周遊する過程で本市に立ち寄る外国人観光客も顕著となってきています。

今後は、富士山世界文化遺産登録や東京オリンピック開催決定に加え、新東名高速道路御殿場インターチェンジ開設、国道 138 号バイパス等の交通インフラ整備が平成 32 年度までに完了予定であることから、こうした時期をとらえた取組により、国内外からの観光交流客の一層の増加を実現することが期待されています。

- ・ 御殿場市の観光交流客数 （23 年度） 13,216,464 人 （24 年度） 12,825,139 人
- ・ 御殿場市内への宿泊客数 （23 年度） 885,730 人 （24 年度） 878,546 人

2. 観光ハブ都市とは ～滞留観光の推進と中継基地機能の強化～

本市は首都圏に近く、富士箱根伊豆交流圏の中心に位置し、東名・新東名・国道 138 号など主要道路が交差する交通の要所にあるため、その地理的優位性・交通利便性の強みを活かしながら、本市の恵まれた観光資源を活用した魅力の創出により、本市を訪れた観光客が周辺地域へ足をのぼす際の出発地、あるいは中継地、若しくは周辺地域を訪問した後の目的地として、いずれの場合にも必ず本市に立寄って観光していただける都市を目指しています。



3. 観光ハブ都市実現による効果

《地域経済活性化》【事業者】

- 観光交流客による市内での消費行動の増加により、地域の経済が豊かになり、各事業者の収益が上がります。
- 観光振興に寄与する道路等のインフラ整備や企業誘致、民間における設備投資など、様々な産業分野に経済効果が波及します。
- 工場見学等の推進により、製品への理解が高まり、購買量の増加による収益向上につながります。また、企業への関心が増し、リクルート対策につながります。

《郷土愛の進展》【市民】

- 御殿場の魅力の再発見及び内外への情報発信により、市民の「郷土愛」「地元に対する誇り」が育まれます。

《まちおこし》【事業者】【市民】【団体】

- 観光交流客の市内への滞留により、街ににぎわいが生まれます。
- 市民・団体・事業者の活動が活発になり、様々な連携が生まれ、地域が活性化します。

《地域における諸課題の解決》【事業者】【市民】【団体】

（農業振興）

- 農家の後継者不足や食の安全安心といった課題に対し、グリーンツーリズムや地産地消に取り組むことで、農業への関心が高まることによる後継者不足解消や、農産物の高付加価値による収益増加につながります。

（商業振興）

- 地元商店街の衰退やシャッター通り化といった課題に対し、まちなか観光や、食・物産などの地場産品開発及び販売促進に取り組むことで、商店街への訪問客の増加や、各個店の収益増加につながります。

（環境保全）

- 自然環境やふるさと景観の保全といった課題に対し、エコツーリズムや田舎の良さを活かした取組により、地域の自然環境やそれが生み出す産品や文化への意識が高まり、自然を利用しつつ保全する仕組みづくりにつながります。

（スポーツ振興、健康増進）

- スポーツ合宿や各種大会の誘致に伴う地域経済活性化や、市民や観光交流客の健康増進につながります。

（高齢者問題）

- 高齢者の生きがいづくりや独居者への対応などの課題に対し、観光ボランティアガイドや語り部、伝統料理の調理者といった役割を担っていただくことで、高齢者が生き生きとした、地域の伝統が継承される街づくりにつながります。

《広域》

- 富士箱根伊豆地域全体で誘客を図ることで、広域の地域全体が豊かになり活性化します。

4. 観光ハブ都市づくりの取組の方向性 （別添「概念図」参照）

①【市内】通過型観光から滞留型観光への転換 ～御殿場リゾート富士の郷づくり～

i) 既存の観光資源の活用及びネットワーク化

…富士山樹空の森をはじめとする観光資源のネットワーク形成や、既存の観光資源を活かした各種の体験型観光により、観光客の回遊を推進します。元々ある地場産品の活用を図ります。また、新たな観光資源との連携を図ります。

ii) 新たな観光資源の発掘と磨き上げ

…富士山をはじめとする恵まれた自然や文化、各種産業など、潜在的な観光資源（観光資源となり得る地域資源）を十分に生かし、関係者の連携により、観光客に提供可能な形として観光商品化します。また、新たな地域ブランド商品の開発を図ります。これらと既存の観光資源との連携を図ります。

<基本政策>

○地域ブランド商品の育成・新たな創出

…食をはじめとする地場商品・ブランド商品の育成・開発

○御殿場の魅力づくりのための新たな観光商品・体験型観光のメニューづくり

…分野ごとの体験型観光及びその連携による魅力向上

○おもてなしの充実・滞在環境の整備

…地元食材の料理、くつろぎ、周辺の観光情報の効果的な提供など、宿泊施設や休憩所のあり方の検討

○御殿場の観光情報の発信

…HP等各種媒体の活用により、誘客に資する戦略的な情報発信

○観光資源をつなぐ道路ネットワーク等の構築

…国道138号・246号を主軸とした道路ネットワーク構築 及び
基幹道路沿線での観光情報の発信拠点整備の検討

②【広域】広域連携の強化 ～富士箱根伊豆交流圏における観光ハブ都市化の推進～

…他市町村との連携と協力をさらに強化し、圏域内への誘客を共同で推進、また、市民の相互交流を推進し、各市町が互いに恩恵を受けるようにします。

<基本政策>

○SKY圏エリアでの広域連携の強化

…観光交流協定による各自治体の観光情報の共有及び相互の情報発信、施設間ネットワーク化により、観光交流の活発化を図ります。また、外国人観光客の誘客促進と利便性向上のため、観光情報の多言語表記の整備を推進します。

5. 推進体制及び手法（別添「連携・協働について」「推進体制イメージ」参照）

観光ハブ都市づくりの推進体制としては、御殿場型NPMの理念に基づき、民間（事業者・団体など）と行政がそれぞれの役割分担を踏まえ、連携・協働します。民間の自発的な事業活動・連携と、行政によるインフラ整備等の関係施策が相俟って観光ハブ都市づくりが推進されます。

また、民官の連携により戦略的に観光振興を図るための取組として、上位計画である観光戦略プランにおいて規定されている「アクショングループ」及び「(仮称)観光戦略推進連絡調整会議」の機能を念頭に置き、テーマ別プロジェクトを推進し、各プロジェクト間の連携・協力と相乗効果を図ります。

<テーマ別プロジェクト>

滞留観光に資する各種テーマを設定し、テーマごとに関係者によるプロジェクトチームを作り、その中で、観光客の滞留に資する観光商品の企画立案などの取組を行います。

各テーマの設定にあたっては、観光客のニーズの多様化に対応するため、富士山に代表される自然や環境保全に対し先進的な取組を行う企業の存在等、本市の観光資源や地域資源・特性を活かしながら、民間の自由な発想により、各種の体験型観光（産業観光、グリーンツーリズム、エコツーリズム、スポーツツーリズム、教育観光など）や、地域ブランド育成に目を向けた取組（御殿場の魅力づくり）などを行います。また、各種体験のほか、観光インフラや情報発信のあり方など、観光振興につながる内容であれば、基本的に何をテーマとしてもよいこととします。

こうした検討を行う際の参考として、以下に本市の観光資源や地域資源・特性のうち代表的なものを記載します。

☆本市の観光資源 及び 地域資源・特性（ポテンシャル）※代表的なもの

- ・夏の富士登山、春～秋の富士山ハイキング
 - ・富士山や箱根山系の豊かな自然環境（森林や草原、湧水、地質資源等）
 - ・御殿場プレミアムアウトレット、時之栖、富士山樹空の森などの大規模集客施設
 - ・清冽な水などの富士山の恵みに由来する各種産業や地場産品
 - ・各所からの富士山の眺望とそれを活かした景観
 - ・秩父宮記念公園など別荘文化を代表する施設や手作りハムなどの産品
 - ・富士山麓の素晴らしい環境に立地するスポーツ体験施設、健康増進施設
 - ・ゴルフ、乗馬、ハイキング、キャンプ等のアウトドア系レクリエーション
 - ・環境保全に対し先進的な取組を行っている事業所の存在
 - ・教育観光の受け入れ増加を可能とする各種体験活動プログラム
 - ・モータースポーツに関連する施設や事業所
 - ・福祉や医療、健康産業との連携（福祉観光、温泉の存在、ファルマバレー等）
 - ・歴史（深沢城址、御殿跡、富士の巻狩、御厨など）や富士山関連の文化財
 - ・わらじ祭りや富士山太鼓まつりなど本市独自の祭り
 - ・著名な映画作品のロケ地となったこと
- 等

<連携・協力について>

各テーマ別プロジェクトにおいて観光ハブ都市づくりの理念・方向性を共有するとともに、各取組の連絡調整を図り、相乗効果を得るための連携のあり方についての協議や、各種の調査・検討を行います。

(想定される内容)

- 各取組・プロジェクト間の連携 (例) 各事業の情報交換、個々の事業の場での協働
- 新たな連携事業の開発 (例) 合同イベント開催、複数分野をつないだツアー開発
- 民間主導の新たなプロジェクト立ち上げのための支援
- 各種の調査・検討 (例) 観光コンベンションビューロー設立に向けた調査・検討

なお、各プロジェクトや連携・協力の際の基本姿勢として、民間のノウハウや自由な発想を活かすこととし、行政は補佐役とします。

御殿場市観光ハブ都市構想

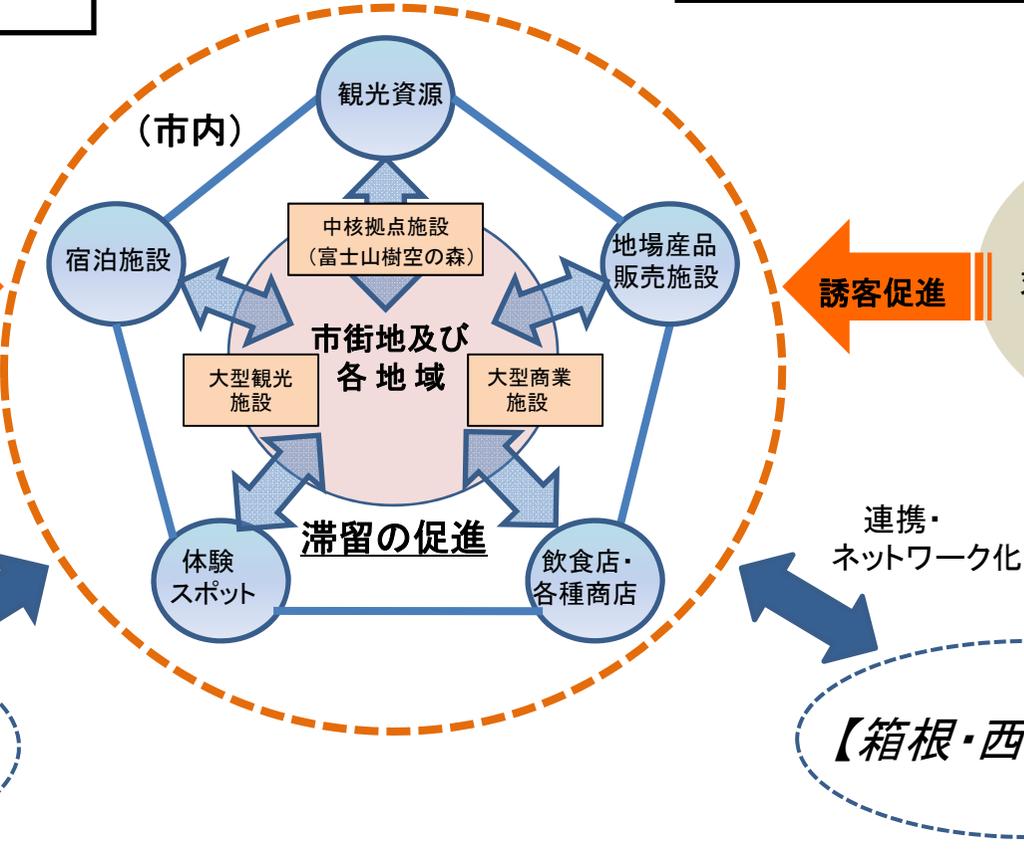
富士箱根伊豆地域における観光ハブ都市 ～御殿場リゾート富士の郷～

☆**滞留型観光への転換を促進し地域経済を活性化**
～御殿場の魅力づくりを推進し、観光資源・施設のネットワーク化により地域経済を活性化～

【富士五湖・表富士エリア】
連携・ネットワーク化

☆**他地域との連携による観光ハブ都市化の推進**
～広域観光エリアにおける交流拠点都市へ～

【静岡・中京方面】
静岡空港、新幹線、東名、新東名 等
誘客促進



【首都圏】
羽田空港、新幹線、東名、新東名 等
誘客促進

【伊豆エリア】
連携・ネットワーク化

【箱根・西湘エリア】
連携・ネットワーク化

観光ハブ都市推進における、民・官の役割分担と連携・協働について

1. 民間事業者・団体等への協力・支援

2. 観光ハブ都市構想におけるテーマ別プロジェクトチームの推進

(民間の自由な発想を活かしたもの／滞留観光推進のため民間活力を導入して戦略的・政策的に取り組むもの)

☆テーマごとに組織される民間主導・民官連携プロジェクトに対し、市関係課による補佐・協力・情報提供等

(観光ハブ都市づくりが市全体として図られる)
※滞留観光推進、ハブ都市化の全体的な方向づけは行政の役割

《民間の自発的な事業活動領域での推進》

- ・民間の蓄積されたノウハウの活用
- ・商品開発等における民間同士の自発的な連携・協力、コラボレーション等
- ・観光協会や観光ボランティアガイド等の自立的な活動

軌道に乗った事業については、民間同士の自発的な活動への移行を促進

《行政による関係施策推進、観光ハブ都市の基盤整備推進》

【ソフト的施策】

- ・市の観光情報全般の発信・PR
- ・広域連携による誘客促進
- ・体験観光に資する地域資源の発掘、受け入れ体制の整備
- ・地場産品の普及拡大支援等

【ハード施策、社会資本整備】

- ・道路、歩道、景観、街路樹等の整備
- ・企業誘致
- ・観光交流施設の運営、整備検討
- ・建築物の景観改善誘導
- ・都市計画(観光交流重点ゾーン)

民官の連携・協働領域

民間意向の聴取・把握、行政施策への反映

- ・プロジェクトチームの普段の自発的活動
- ・事業者と各種団体・NPO等の連携等

3. 各プロジェクト間の連携・協力、相乗効果

- ①各プロジェクト間の連絡調整
- ②事業の連携
- ③各種調査・検討・研修
- ④全体的な情報発信

【観光ハブ都市・滞留観光推進 プロジェクト推進体制のイメージ】

☆各プロジェクトが取り組むテーマとして想定される内容

⇒企業・団体・市民の自由な発想により、御殿場の魅力づくり・観光振興につながるものなら何でも

(例)地場産品、グルメ・飲食、自然・環境、産業観光、農業体験、福祉・健康・癒し、スポーツ、歴史・文化、祭り、その他体験型観光、各種イベント、おもてなしの宿、お休み処のあり方、おみやげ、観光情報の発信・提供 等々

各テーマ(プロジェクト)のイメージ

※実際のプロジェクト名称や取組内容はメンバーによる協議の上決定

御殿場の魅力づくり

各プロジェクトの構成員

- ・コーディネーター(リーダー役)
 - ・メンバー(個人・企業・団体)
 - ・補佐役(市の関係課)
- ☆補佐役の課はテーマ・取組内容に応じて決定

着地側からの
情報発信

着地側からの
情報発信

☆各プロジェクト間の連携・協力と相乗効果を図ります。

- ①各プロジェクト間の連絡調整
- ②連携事業の開発
- ③各種調査・検討
- ④新たなプロジェクトの立ち上げ支援協力